

安曇野民報ほりがね

うすい、泰彦通信

第 4 号

2019年 2月 8日発行

安曇野民報ほりがね編集委員会

安曇野市堀金三田1160

TEL・FAX 73-4465

日本共産党の見解をお知らせします。ご意見をお寄せください。

12月議会

より使いやすい「あづみん」を

白井泰彦議員は、一般質問で、食育と公共交通について質しました。デマンド交通「あづみん」については、同じ「ドア-to-ドア」のタクシーと競合する関係があることから、「あづみん」もタクシーもより使いやすいとすることこそ市民の要求であるとして提案をしました。市は、「あづみん」に係る予算を合併前の約7千万円以上に引き上げる考えはないと答えました。



白井議員と執行部の一問一答は次の通りでした。

利用者の心身の負担が増えた

問 「あづみん」の運行見直しにより、堀金地域では、待ち時間や乗車時間が長くなり、利用者は我慢に我慢を重ねている。利用状況調査の結果、穂高地域の利用者が大幅増なら、外の地域の運行台数を増やすことを検討するの。また堀金地域の実利用者や延べ利用者が減少した場合、運行時間を30分に戻すのか。

政策部長（政策） 予約断り件数調査の途中集計で、全体で8月の536件に対し11月は292件と244件減っている。市内全域でこの傾向が見られ、穂高地域48件、堀金地域107件の減となっている。予約を断ら

れた後の状況は、当日時間をずらしたケースが最も多く、乗車をあきらめたケースは断り件数に比例して減少している。市全体の今年4月以降の利用者は、10月が最多。堀金地域は月別の大きな変動はない。全体の運行台数を維持して、効率的な運行を検討していく。

問 堀金地域では、豊科方面か西山方面のどちら方面のバスに乗るかによって乗車時間・待ち時間が大きく変わってくる。利用者の立場に立った運行を願う。

政策 利用者の負担にならないよう効率的なルート設定に心がけている。

「あづみん」とタクシーの利便性向上を！

問 「あづみん」の利便性が向上すれば、タクシーの利用者が減る関係がある。「あづみん」の利便性を高めるために料金値下げ、運行車両増加、運行間隔縮小、運行時間の延長、土日運行を、ま

た、タクシーも運賃割引制度、利用補助券等の改善を提案する。

政策 「あづみん」導入前の地域ごとの公共交通の支出総額が約7千万円だったので「あづみん」の運行もこの範囲で行っている。タクシー事業との住み分けをしている。「あづみん」の利便性を高める方法として新たな予算の投入は考えてない。（编者注・予算を増やして、利便性は高めるつもりはない）

大糸線西側の定時・定路線の調査・研究は

問 特に通勤・通学時間帯の定時・定路線の研究は政策 市地域公共交通協議会で検討している。定時・定路線の路線延長、スクールバスの併用等研究をしている。

問 グリーンスローモビリティ（電動低速小型バス）を定時・定路線等に導入できないか。

政策 実証事業段階で導入の検討はしてない。



食への安心が育む 食への感謝と誇り 豊かな食育は自校方式で

白井議員は、市の食育推進計画（第3次案）の食育基本法や食育推進基本計画との関わりを質す（略）とともに、食育全体の中での家庭の食育の位置づけを質しました。また学校給食における豊かな食育は、自校方式でこそできることを訴えました。

食育全体の中で 家庭の食育の 位置づけは

問 食育の目的は、食育基本法第1条の「健全な心身を培い、豊かな人間性を育む食育の施策を推進して、健康で文化的な国民の生活と豊かな活力ある社会の実現に寄与すること」であるとした上で伺う。家庭の食育の食育全体の中での位置づけと、食育の基本を担う家

庭の支援について伺う。

市長 家庭を中心に置き、行政や関係する機関が連携して、家庭や個人を支える。

問（意見）長時間労働や低賃金等の困難な家庭の状況を市として支援すべきである。

食の安心

①食品の安全

②給食に係わる

人との
ふれあいや
仕事への理解

問 認定こども園や幼稚園、小・中学校では、給食に係る方との共食（共に食べる）や給食に係る方の仕事についての学習はどのようにされているのか。

楽しい食卓、食への感

謝と理解を深める核心は食の安心であり、その一つは、食品そのものの安全であり、また一つは食の生産から調理、片づけ

に關係する知識や、それらに係る方々の努力に対する理解、その方々との

触れ合いと考える。これらが安曇野市の給食に対する感謝と誇りの心を育む。さらに、給食に係る方にとっても、仕事への一層の励みとなる。

教育長 全小・中学校の全学級へ栄養教諭等が出向いて指導をし、子どもの声を聞いている。

交流給食を行っている堀金小と豊科東小、豊科南中、豊科北中の4校では、給食センターの関係者の外、生産農家、食品の納入業者、農協等の方

に来てもらい、給食を共にしながら交流をし、係

わる方々の願いや苦労等を直接聞いている。子どもが感謝の気持ちを直接伝え、質問して、生産者から答えてもらったり、逆もある。食育の推進、食への感謝と理解に大きな効果を上げている。今後、交流給食の輪をさらに広げていきたい。

福祉部長 認定こども園では、栄養士、調理員も

保育・食育に携わり、調理員が給食を作る様子を子どもが見て、会話をするなど多くの係わりを持っている。

栄養士は毎日各園を回り、子どもたちへ食事のマナーや食材などの食育指導を行い、一緒に食べ

ている。調理員も毎月各クラスに入り、子どもたちの様



廃止の問題が出ている堀金学校給食センター

子ども観て、一緒に会話を楽しみながら食べている。調理や食事に対する興味が湧く大切な時間である。

問 交流給食では、調理員等が勤務の中で交流するよう配慮してほしい。

地域で守ってきた 堀金学校給食センター

問 廃止の問題が関係者へ話されている。市の考えを伺う。

教育部長 市公共施設再配置計画で4つの学校給食センターの延床面積を11.7%（編者注…堀金学校給食センターに相当）減らすとしている。

今後、PTA、関係する地元農家、議会、教育委員会に説明し、意見を伺い、丁寧に進めていきたい。

問 堀金学校給食センターは、地域の人々が長年支援し、自校方式を守ってきた。健全な心身を培い、豊かな人間性を育む大事な小学生の時に、ぜひ続けてもらいたい。

（次項の上段へ続く）

給食費の 無償化を 段階的に

問 憲法26条2項の「義務教育の無償」から、教育に位置づけられている給食の無償化は当然である。

一方、子育てしやすいまちづくりを目指す安曇野市として、また、少子化対策としても、無償化の実施は大変有効である。第3子から無償化を実施した場合、必要な予算は、段階的な無償化も含め考えを伺う。

教育部長 平成29年度の学校給食事業の経費は、8億450万円余。内学校給食費は5億20万円余。第3子から無償化を実施した場合①小・中学校に第1子から第3子以降が在籍の場合326人で年間1800万円余②一番上が20歳未満で、第3子以降が小・中学校に在籍の場合688人で年間4800万円余となる。給食費の無償化は現段階では困難である。

子どもへの愛情が 注がれてきた学校給食

堀金地域の学校給食の動きは、敗戦後早々から始まり、食糧難の時代の子どもを守ってきました。【1964年以外は全て小学校関係】

- 1946年(s21)各家庭に配給されるための大豆を加工し味噌にし、**みそ汁給食**を始める。
- 1950年(s25)9月より**脱脂粉乳**給食の試験的实施を始める。順次実施日数を増やす。
- 1952年(s27)みそ汁給食を12月から3月の冬期間保護者の奉仕により週4日実施する
- 1953年(s28)凶作により1か月繰り上げて11月よりみそ汁給食を始める。調味料代として1か月10円徴収する。野菜を1人5.6kg余りずつ持参とする。
- 1954年(s29)**おかず給食**始める。
※それまで給食室は、昇降口を改造して使ってきたが、
- 1956年(s31)給食室を拡充。**週6回の完全パン給食**を始める。
- 1960年(s35)給食室新築移転。調理作業を一挙に機械化する。
- 1963年(s38)全国学校給食優秀校として文部大臣表彰される。
- 1964年(s39)7月より**中学校給食室完成。完全給食**となる。
- 1969年(s44)脱脂粉乳から混合乳に、週1土曜パンがソフトスパゲティー麺となる。
- 1970年(s45)4月県下でただ一校の文部省の**米飯給食の給食実験校**に指定され、9月から週2日米飯給食が開始される。
- 1971年(s46)から米飯給食が週3日となる。
- 1979年(s54)8月より給食調理室改築のため給食を中断する。11月給食調理室完成。
11月学校給食特別優良校として文部大臣表彰される。12月から給食再開
- 2005年(h17)4月より堀金学校給食センター始める。(10月の合併前の堀金村時代)
*参考資料・堀金小学校百年誌・堀金村公民館報・堀金村誌

学 校 給 食 なぜ自校方式か

食育基本法前文

では、「食育はあらゆる世代の国民に必要なものであるが子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育んでいく基礎となるものである。」と謳っています。学校給食も家庭での食事子どもにとって最善のものをめざしたいですね。

地産地消で子どもは幸せ

市は、給食食材の地産地消を進め、農業振興を図っています。米はもちろん100%安曇野産です。大量の食材を集めなければならない大規模給食センターと比べ、自校方式は、校区や地域で食材を調達しやすく、堀金では地域農家と物産センターの協力で安曇野産野菜(金額ベース)使用率が30%近くとなっています。また「今日のけんちん汁の大根は下堀の〇〇さんが作ったものです」と給食時に子どもたちに伝えることもでき、食育面からも地域の人に大切に育てられているとの思いが育まれます。

豊かな食育は自校方式で

市内認定こども園・幼稚園、小・中学校の食育では、給食に係わる方との交流を豊かに行い、家庭の食事のように子どもたちが愛情に包まれて、安心して、楽しく食事をしています。このような食育は、自校方式でこそ可能です。「命の食卓」というフランス映画に、田舎の小学校の昼食風景が出てきます。コックが、作った昼食を子どもたちに給仕し、子どもたちと会話しながら食事を見守る。まさに安心の食事、人間的で豊かな食文化、食育基本法の一節の「文化の香りあふれる」を感じさせるシーンです。

災害対応からも優れた自校方式

避難場所のTKBの大切さが言われています。トイレ・キッチン・ベッドです。中でもキッチンは、お弁当やおにぎり、パンなどの冷たい物に対して、温かい汁物が被災者を励まし、元気にします。避難場所となる

小・中学校の自校方式の調理施設が使えれば、ありがたいです。

また、インフルエンザ等急な予定変更も、自校方式では学級対応ができますが、大規模給食センターでは学校対応が限度です。

確定申告で

税金取りもどし

①補聴器の 医療費控除の 手続き

補聴器が治療のために必要と補聴器相談医が認めた場合、医療費控除の対象になります。まず、①補聴器相談医（市内では安曇野日赤と子ども病院の耳鼻咽喉科と宮島耳鼻咽喉科、山本耳鼻咽喉科。昨年6月1日現在）を受診します。医師から②「補聴器適合に関する診療情報提供書2018」をもらいます。この第5項目に「医師による診療や治療を受けるために直接必要」にチェックが入っていることが必要です。次にこの③「診療情報提供書」を補聴器販売店に提出し、④試用後に補聴器を購入します。購入の際もらった⑦診療情報提供書のコピーと①領収書は5年間保存します。



②介護認定家族が 受けられる 障害者控除

配偶者や扶養親族で介護認定を受けている人がいる場合、障害者控除が受けられます。

控除が受けられるのは、65歳以上の人で、市の認定を受けた場合です。

安曇野市の認定基準は、

①障害者としての認定基準が、

要介護1以上で⑦障害高齢者の

日常生活自立度(寝たきり度)判

定基準A1以上の人 ⑧認知症

高齢者の日常生活自立度判定基

準IIa以上の人。

②特別障害者としての認定基準

が、要介護3以上で⑦障害高齢

者の日常生活自立度判定基準C1以

上の人 ⑧認知症高齢者の日常

生活自立度判定基準IIIa以上の

人。

所得からの控除額は、①障害

者の場合、27万円、②特別障害

者の場合40万円（同居だと75万

円）です。確定申告は5年間さ

かのべれますが、その年ごとの

認定が必要です。市役所やケア

マネジャーには、介護で大変な

家族にこうした情報を分かりや

すく伝える役割もあります。遠

③医療費控除

最高200万円

対象は

*診療費(診察・治療・医薬品等)

*通院費 *入院部屋代・食事

代 *妊娠中の定期健診費用や

分娩日 *6月以上寝たきりの

人のおむつ代(医師証明書が必

要) *介護保険で提供された

一定の施設、在宅サービス費用

医療費控除額(計算式)

は

2018年に払った医療費総額

ー

保険などで戻って金額

ー

10万円または所得の5%

のいずれか少ない方の金額

領収書の添付は不要代わりに医

療費控除の明細書を国税庁HP

や市役所等から入手し、記入・

提出することが出来ます。(た

だし領収書は5年間保存) 加入

する医療保険(国民健康保険、

協会けんぽ、健康保険組合等)

から送付される医療費通知や領

収書を基に医療費控除の明細書

を記入し、控除額を計算します。

〔以上しんぶん赤旗、生活

と健康を守る新聞より〕

対象年齢の方、お済ですか？

肺炎球菌ワクチン

肺炎は、日本人の死

因の3位で、亡くなる

人の95%が65歳以

上です。病気で体の抵

抗力が弱まったり、加

齢で体力が衰えたりす

ると細菌などに感染し

やすくなります。細菌

が肺に入り込み、肺炎

を発症する場合、その

原因菌で一番多いのが

肺炎球菌です。肺炎予

防のために肺炎球菌ワ

クチンの定期接種が行

われています。

対象者は、これまで

一度もワクチン接種を

費用は、安曇野市の
場合2000円です。
〔しんぶん赤旗より〕

対象期間は3月31

日までです。

100歳の誕生日を迎

える人と、60から65歳

未満の方で日常生活に

特別な障害のある人で

す。(詳細は市役所へ)

受けたことがない方

で、今年度中に65、70、

75、80、85、90、95、

100歳の誕生日を迎

える人と、60から65歳

未満の方で日常生活に

特別な障害のある人で

す。(詳細は市役所へ)

消費税「増税対策」は天下の愚策 世論の反対6割

奇々怪々！ 混乱必至！ 軽減税率・ポイント還元

	オロナミンC (清涼飲料水)	リポビタンD (医薬部外品)
現金	現金	現金
キャッシュレス	キャッシュレス	キャッシュレス
大手デパート	8% 「軽減」税率	10% —
大手コンビニ	8% 「軽減」税率	10% —
中小商店	8% 「軽減」税率	5% 500円

しんぶん赤旗 2018・12・22

